

ゆりの花たより

2023
vol.62

「一人ひとりの最良」を目指して	2	第34回 栄養管理室のフレッシュコラム	4
自動精算機導入のお知らせ	3	第48回 リハビリ元気通信	4



「一人ひとりの最良」を目指して

8月1日に「こども発達支援カミーノ」が開業しました。

カミーノは「発達障害のある」「0～6歳の子どもたち」が「保護者と一緒に通い」、遊びをととして発達支援を行う児童発達支援事業所です。「療育」と聞くとなんとなくイメージが沸く方も多いかもしれませんが、療育から「治療」的な部分を取り除き、障害のある子ども達の**今ある力を伸ばすための支援**

をしていくのが発達支援となります。児童福祉法に定められた施設ですので、利用には市町村で発行された通所受給者証が必要です。

カミーノでは「十分な成功体験と適切な失敗体験が強くしなやかな人格の土台をつくる」という考えのもと、未就学の子どもたちにとって最も身近な保護者の支援を第一とし、子ども達が保護者と一緒に遊びを通して様々な体験をしながら成長していくプロセスを大切にしていきたいと考えています。

また「共通した方針が生活全般に適應されることでより良い発達が促される」という考えから、家庭・教育・福祉機関など様々な人や組織と緊密な連携をとり「育ちを支えるチーム作り」に尽力していきます。

カミーノは、子どものこころ専門医の西村医師を中心に、児童発達支援管理責任者の保育士、児童指導員に社会福祉士、特別支援学校教諭、公認心理師と、福祉・心理・教育の様々な専門性を持つスタッフ8名で運営しています。

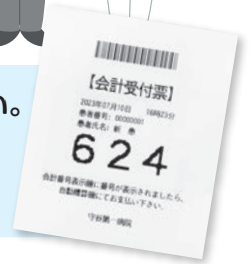
スタッフ一同子ども達や保護者の「こころの安全基地」になるような事業所を目指していきます。



ご利用に関するご相談・お問い合わせは **TEL.0297-47-8108** までご連絡ください。

自動精算機導入のお知らせ

操作方法など
ご不明な点は遠慮なく
お近くの職員へ
おたずねください。

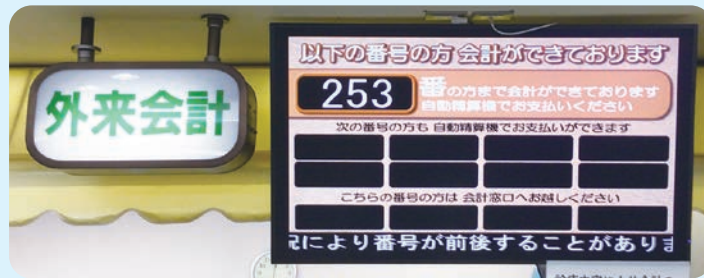


1

診察が終わりましたら基本票入れ(青いファイル)を会計窓口へお持ちください。
会計受付票をお渡しさせていただきます。
会計入力が終わるまで 席にかけてお待ちください。

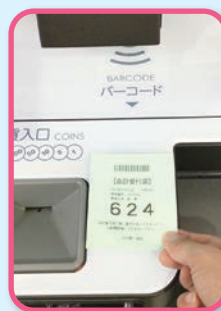
2

会計入力が終わりましたら会計窓口上部の表示機に会計受付票の番号が表示されます。
会計受付票に記載のある番号が表示されましたら自動精算機でのお支払いが可能です。
(最下段に表示された方はお手数ですが会計窓口へお越しください。)



3

診察券を挿入するか会計受付票のバーコードを読み込ませてください。
画面に請求金額と患者様氏名が表示されますのでお間違いがなければ現金またはクレジットカードにてお支払いをお願い致します。



4

領収書、明細書が自動精算機中央部より発行されますので忘れずにお持ち帰りください。

自動精算機でのお会計の流れ

1日の食物繊維摂取目標量は、
女性**18g以上**、男性**21g以上**です。(ともに18～64歳の場合)

(厚生労働省「日本人の食事摂取基準2020年版」)

令和元年の国民健康・栄養調査によると、日本人(20歳～69歳)の食物繊維摂取量の平均は、男性18.8g/日、女性16.6g/日で、目標量を満たせていないのが現状です。

食物繊維の働き

- ・血糖値の急上昇を抑える
- ・腸内環境を整える
- ・便秘を予防する



摂取量を増やすことも大切ですが、食事の最初に食べること「ベジタブルファースト」もおすすめです!!

また、朝食で食物繊維を摂ると、昼食の血糖値の急上昇も防ぐ効果があるとされていますので、朝食から意識して摂るようにしましょう!!

食物繊維を多く含む食材

野菜類、穀類、芋類、きのこ類、海藻類、豆類などに多く含まれています。
穀類、芋類、豆類は糖質も多く含まれているので、
摂り過ぎには注意しましょう。

おすすめ食材	食物繊維(g)
ライ麦パン 60g	3.4
ブロッコリー 70g	3.6
ごぼう 50g	2.9
まいたけ 100g	3.5
きなこ 12g(大さじ2杯)	2.2

日本食品標準成分表2020年版(八訂)より

リハビリ元氣通信 第48回 誰がいる?何してる?リハビリの中身

理学療法士 藤崎 英珠芳

7月17日は理学療法の日、9月25日は作業療法の日、9月1日は言語聴覚の日です。当院総合リハビリテーション室にも、理学療法士(PT)・作業療法士(OT)・言語聴覚士(ST)が在籍しており、日々リハビリテーションを提供しています。

そもそもリハビリテーションって耳にするけど、どんなことをやっているの?と思われる方も多いかもしれません。リハビリテーションの語源は、re(再び)+habilis(適している)が組み合わさったものです。再び適する状態になることを示しており、人がその人生最後の時までその人らしくあることを目指します。

各職種が専門性を活かしながら、「治すこと」だけに焦点を当てるのではなく、「残された機能を最大限に活用すること」や「予防」の観点からもアプローチを行っています。

PT

基本的な動きや

移動ができるように…

身体機能の改善、筋力、バランス、感覚、歩行など

OT

目的や価値のある活動を行えるように…

トイレ動作や着替え、家事動作、趣味・仕事などの活動など

ST

コミュニケーションの改善、安全に食事ができるように…

話すこと、聞くこと、飲み込み、手順よく物事を行うなど

身の回りのことがうまくできないな…

OT: トイレ、着替え、食事動作などができるように

フラフラして転びそう…

PT: 安全に歩けるように

うまく話せない…
考えがまとまらない…

ST: スムーズにコミュニケーションを取れるように

むせる…

ST: 安全に飲み込めるように

PT: むせない姿勢を保てるように

庭の世話
またできるかな…

OT: スコップなどの操作ができるように

ST: 手順よく物事を行えるように

第49回もお楽しみに!